

地域は違えども心はひとつ

平成29年度九州事務局長会議

去

る11月27日(月)、平成29年度九州事務局長会議が、福岡県北九州市の(株)井筒屋クエスト第2ビル5階会議室で、11名が参加して開催されました。

この会議は、九州地域の県本部・



支部の情報交換と連帯を深めようと十数年前からスタートしたもので、九州独自の活動として基本的には毎年開催されています。

会

議は、北九州市本部の馬場事務局長の司会で進められました。

た。まずは、全員で「小さな親切」八か条を唱和。今年は初参加者が多く、自己紹介で鹿児島県本部の大道さんは、学生時代に井筒屋でアルバイトをしていたことや、司会の馬場事務局長は久留米出身であるなど、参加者の意外な共通点が披露されたほか、大分県本部の三浦参与は30年・高山事務局長は15年、北九州市本部の田中さんは15年と長く運動に

携わっておられる大ベテランもあり、新旧の顔合わせとなりました。

討議では、参加者が持参した資料を基に活動報告を行った後、「会員の高齢化」「事務局は1名なので、活動が制約される」「地方賛助会員がおらず、財政が厳しい」など現在抱えている問題や、「紙芝居をはじめるきっかけは？」など事業についての質問などが出され、有意義な意見交換が行われました。

会議終了後に開かれた懇親会では、北九州市本部の南文世前事務局長も合流し、おいしいお酒と運動についてアツク語り合いました。

来年は、大分県で開催されます。

【主な活動】

北九州市本部：32回目を迎えた独居老人宛年賀はがきなど独自の活動の他、作文コンクール、実行章キャンペーン等に取り組む。

行橋支部：木村良一前代表がご逝去された後、支部解散との意見がでた

が、運動の灯を消さぬよう実行章の推薦と贈呈等に努力している。

長崎支部：代表と事務局を引き受けたばかり。年1回の実行章贈呈式が支部の主な活動だが、今後は作文コンクールにも取り組んでみたい。

大分県本部：紙芝居は、中央本部オリジナル作品や「稲むらの火」を上演。英語の紙芝居にも挑戦するほか、行政の要請を受け、「子育て体験談」を講演。

鹿児島県本部：小さい頃から思いやりの心を育てようと、幼稚園、保育園、小学校に重点を置き活動。作文コンクール作品集を手作りで作製。

久留米支部：作文コンクールに加え、創立35周年記念標語コンクールを開催。啓発活動の一環で、久留米まつりに沿道を清掃しながら参加。

出席者

- 北九州市本部
事務局：(株)井筒屋 総務グループ内
事務局長：馬場正一
スタッフ：田中恵子
 - 大分県本部
事務局：城崎コスギビル内
事務局長：高山静子
参与：三浦安盛
 - 鹿児島県本部
事務局：県社会福祉協議会
事務局長代理：大迫元信
 - 福岡県行橋支部
事務局：みやこ家具店内
副支部長：岡田博利
 - 福岡県久留米支部
事務局：筑邦銀行内
事務局長：佐田健次
前事務局長：原 秀隆
 - 長崎県長崎支部
事務局：(株)浜屋百貨店 総務部 総務グループ内
事務局長：松尾 悟
 - オブザーバー
公益社団法人「小さな親切」運動本部
専務理事：山橋由貴子
職員：今野那緒子
- ※3県本部(佐賀、熊本、宮崎)は欠席